

デジタルを活用した「通いの場」モデル事業

狙い

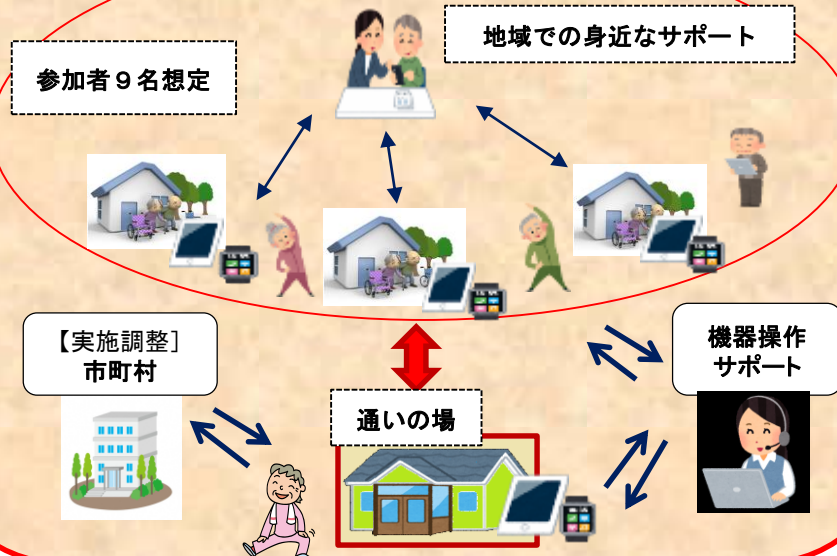
コロナ禍にあっても持続可能な「通いの場」の新たな運営手法の検討及び高齢者がICT機器を抵抗感なく活用できる意識の醸成と活用能力の向上を図る。

手段

「通いの場」(県内4か所)の参加者にタブレット端末等を貸与し、サポート体制を整備した上で実施。デジタルを活用した「通いの場」を実施を通して、高齢者のICT機器に対する意識と活用能力の変化等を検証。

県内4ヶ所(東根市・金山町・長井市・酒田市)の「通いの場」で週1回、2か月程度実施

デジタルを活用した「通いの場」の実施 [参加者にタブレット端末等を貸与]



事後検討会

デジタルを活用した通いの場の実施及びタブレット等の使用に関する意見聴取

評価分析・課題の抽出

事業実施で得られた結果の分析・課題の抽出

次年度の展開

評価分析・課題抽出を踏まえ、普及に向け具体的な取組みを実施